

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社グループ第93期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の招集ご通知をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期、当社グループは中期事業計画「R1」の2年目を迎え、「R1」で掲げた目標の達成に向けて、現行ビジネスでは安定化と利益ある成長の確立に向けた取り組みを推し進めるとともに、新事業では次世代につながる事業の積極的開拓を行ないました。電池事業につきましては、ニッケル水素電池およびリチウム電池について、需要増に対応するための生産ラインの増設や各種製品の性能を向上させるための開発に取り組みました。また、電子事業につきましては、選択と集中を継続する一方で、モビリティ用途向け各種モジュールや半導体装置用途向けスイッチング電源などの供給に努めました。新事業につきましては、SMD対応小型全固体電池では量産開始に向けた評価用サンプル出荷と顧客要求に応じた仕様の確立に注力し、ニッケル亜鉛電池では特定顧客へのサンプル出荷、水素/空気二次電池ではコスト競争力向上のための開発を推し進めてまいりました。

当期の経営成績につきましては、売上高は、ニッケル水素電池、リチウム電池、設備関連ビジネスおよび電子事業が増加した一方で、アルカリ電池事業で前期に実施した海外製造子会社の株式譲渡や国内市況の低迷による売上減により87百万円減の614億56百万円となりました。営業利益はアルカリ乾電池の売上減による利益の減少に加え、原材料価格の高騰などがあったものの、その他事業の伸長と為替差益により3億39百万円増の20億83百万円となりました。経常利益は前期に比べ6億94百万円増の19億68百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は関係会社清算益4億59百万円、関係会社株式売却益13百万円の特別利益を計上しましたが、アルカリ電池事業に係る固定資産の減損損失12億13百万円を特別損失に計上したことにより、前期に比べ12億68百万円減の7億40百万円となりました。

配当につきましては、未だ欠損状態でありますので、誠に遺憾ではございますが見送らせていただきたいと存じます。株主の皆様には誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

中期事業計画「R1」の最終年度となる2022年度は、原材料価格の高騰、電子部品や樹脂部品の調達難などがさらに拡大していくことが想定されます。これらの課題に対して当社グループは、技術VEによるコスト削減、徹底的な経費削減、使用材料の変更など原材料価格高騰に対するレジリエンスを強化するとともに、販売価格の見直しならびに新規ビジネスの獲得、深耕開拓を行なうことにより、中期事業計画目標値の達成に向けて取り組んでまいります。また、新たに設置した指名・報酬委員会ならびに当社グループのサステナビリティを推進する委員会の運営を行なっていくことで、コーポレートガバナンスの強化を推し進めてまいります。

当社グループは、「進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために」という経営理念のもと、全てのステークホルダーに応える「And Game」の実現のため、各自が自律的にお客様にご満足いただける努力を怠らない企業文化の醸成を加速させ、企業価値の向上に繋げてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き当社グループをご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
長野 良

2022年6月

連結決算ハイライト

売上高

614億56百万円

単位:百万円



営業利益

20億83百万円

単位:百万円



経常利益

19億68百万円

単位:百万円



親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)

7億40百万円

単位:百万円

